

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名：（日本語）肝悪性腫瘍における腹腔鏡肝切除術後患者の予後の検討
（英語）Surgical outcomes of Laparoscopic liver resection for liver cancer

・目的：肝悪性腫瘍に対する腹腔鏡下肝切除術（以下LLR）は保険収載後、全国で急速に症例数が増えています。通常の開腹手術と比べて低侵襲であることは理解されており、短期成績にては相違がないことも報告されてきていますが、長期的な検討は十分にされておらず、LLRだけの肝癌術後の予後因子の検討は十分ではありません。当院は保険収載されてすぐに導入した経緯もあり、これらの症例を解析することで今後の治療に役立つ結果を見つけられる可能性があります。そのため、過去の症例のデータベースを用いて、再発、全生存といった予後に影響する臨床病理学的因子の検索を行う予定です。

・研究期間：IRB承認日～2025年3月31日

・研究対象：2008年1月1日～2024年12月31日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

：年齢、性別、肝炎ウイルス感染、アルコール多飲既往、肝機能（ICG-R15値、Child-Pugh分類）、腫瘍マーカー値、腫瘍の最大径、腫瘍の個数、被膜形成、肝細胞癌の分化度、脈管浸潤、肝内転移、Stage分類、手術術式、出血量、輸血の有無、surgical margin

利用する者の範囲

：渡邊 幸博

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：渡邊 幸博